

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 第2回枚方市スポーツ推進審議会
開 催 日 時	令和5年1月6日(金) 14時～15時30分
開 催 場 所	枚方市役所 別館 4階 第4委員会室
出 席 者	会長：高見委員、副会長：木村委員 委 員：草部委員、関委員、田川委員、谷口委員、西邨委員、浜田委員 村島委員、阪本委員
欠 席 者	伊原委員、中島委員
案 件 名	1. 開 会 2. 審議会の運営について 3. 市民アンケート結果について 4. 枚方市スポーツ推進計画の中間評価報告書(骨子案)について 5. その他 6. 閉 会
提出された資料等の 名 称	●資料1 ●参考資料1 枚方市運動やスポーツに関するアンケート調査 ●参考資料2 現行計画の課題解決に向けた施策の方向性 ●参考資料3 中間評価のスケジュール ●参考資料4 枚方市スポーツ推進審議会委員名簿 ●参考資料5 枚方市スポーツ推進審議会条例(平成28年3月14日条例第3号) ●参考資料6 枚方市情報公開条例(抜粋) ●参考資料7 枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程 ●参考資料8 枚方市スポーツ推進審議会の傍聴に関する取り扱い要領 ●参考資料9 枚方市スポーツ推進計画概要版 ●参考資料10 スポーツ基本法抜粋
決 定 事 項	・ 会議は公開、会議録は全文筆記で作成の上、会議録の確定後に公開 することに決定 ・ 市民アンケート結果及び枚方市スポーツ推進計画の中間評価報告書(骨子案)について共有
会議の公開、非公開の 別 及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	0人
所管部署(事務局)	観光にぎわい部 スポーツ振興課

審 議 内 容

(開会 14時)

【令和4年度 第2回枚方市スポーツ推進審議会】

1. 開会

(高見会長) 定刻となりましたので、ただいまより令和4年度第2回枚方市スポーツ推進審議会を始めさせていただきます。それでは、開会にあたりまして、枚方市 野田充有(のだ みつあり) 観光にぎわい部長よりご挨拶をいただきます。

(観光にぎわい部長)

皆様、新年あけましておめでとうございます。

ただいま、ご紹介にあずかりましたわたくし観光にぎわい部部長の野田でございます。

審議会開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。本日は、新年早々お忙しい中、令和4年度第2回枚方市スポーツ推進審議会にご出席いただき誠にありがとうございます。

また、平素より、本市のスポーツ行政の推進にあたりご理解、ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

新型コロナウイルスの収束が見えない状況ではございますが、本市においてもウィズコロナの中でスポーツ活動が正常化してきており、昨年12月12日には、KTM河本工業総合体育館で大相撲枚方場所が開催され、約3,000人もの方が、日頃見ることができない大相撲を楽しんでおられました。

また、本市に学校がある東海大大阪仰星高校は、現在開催されている全国高校ラグビー大会に大阪代表として出場し、昨年に続き2連覇を期待していましたが、1月3日の準々決勝で報徳学園高校に21対31で惜しくも敗れました。しかし、その戦う姿勢は市民に勇気をあたえました。

今後においても、1月9日には毎年恒例の淀川で開催する「新春走ろうかい」をはじめ、複数のスポーツイベントが予定されており、スポーツによって、まちの賑わいを取り戻しつつあると実感しているところです。

さて、本日の枚方市スポーツ推進審議会につきましては、昨年9月に実施しました市民アンケート結果などを踏まえ、枚方市スポーツ推進計画の中間評価報告書(骨子案)を作成しましたので、委員の皆様より忌憚のないご意見をいただければと思います。よろしく願いいたします。

どうぞよろしく願いいたします。

(高見会長)

先日行われたワールドカップの試合はすごかった。普段は、私は試合観戦をしないが、今回はしっかりと観た。こういった“にわか”ファンというのがあるが、“にわか”という言葉は悪い言葉ではないと思って、地域スポーツを進めていくうえで、いかに“にわか”をつくっていくかが大事である。トップアスリートのパフォーマンスに拍手を送るとともに、影響をスポーツに関心がない人、市民一人ひとりをまきこめるような影響があればよいと思う。審議会も地域の方々のために、地域に根差した施策をつくる一助になればと思う。

それでは、案件(2)審議会の運営について、審議会の出席状況と傍聴者についての報告とあわせまして、資料の確認を事務局よりお願いします。

(事務局) それでは本日の出席委員につきまして、委員 12 名中、9 名の方にご出席いただいております。枚方市スポーツ推進審議会条例 第 7 条第 2 項に規定する「2 分の 1 以上の出席」を満たしているため、この審議会の会議が成立していることをご報告いたします。なお、伊原委員につきましては事前に欠席の連絡をいただいております。木村副会長は 15 分程度遅れると連絡をいただいております。それでは、続きまして、事務局職員の紹介をさせていただきます。

- 野田 観光にぎわい部 部長でございます。
- 上原 観光にぎわい部 次長でございます。
- 有村 スポーツ振興課 主任でございます。
- 東 スポーツ振興課 係員でございます。
- 続いて、委託事業者であるサーベイリサーチセンターの小林様に出席いただいております。
- 最後に、私、スポーツ振興課課長の巽でございます。

以上でございます。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、ここで、委員の委嘱について第 1 回審議会でご説明させていただきましたとおり、令和 4 年 11 月 16 日から令和 5 年 3 月 31 日までの委嘱状を発行させていただいております。時間の関係上、本日は皆様のお席の上に置かせていただいております。誠に申し訳ございませんが、何卒、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

続いて、次に本日の配付資料でございますが、

- 資料 1
- 参考資料 1 枚方市運動やスポーツに関するアンケート調査
- 参考資料 2 現行計画の課題解決に向けた施策の方向性
- 参考資料 3 中間評価のスケジュール
- 参考資料 4 枚方市スポーツ推進審議会委員名簿
- 参考資料 5 枚方市スポーツ推進審議会条例(平成 28 年 3 月 14 日条例第 3 号)
- 参考資料 6 枚方市情報公開条例(抜粋)
- 参考資料 7 枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程
- 参考資料 8 枚方市スポーツ推進審議会の傍聴に関する取り扱い要領
- 参考資料 9 枚方市スポーツ推進計画概要版
- 参考資料 10 スポーツ基本法抜粋

以上、資料等に過不足などはございませんでしょうか

それでは続きまして、会議の公開及び傍聴に関する取り扱いについてご説明させていただきます。参考資料 5 「枚方市スポーツ推進審議会条例」の裏面をご覧ください。第 8 条第 1 項において、審議会の会議は「公開」と規定されています。ただし、第 8 条第 1 項第 1 号及び第 2 号に該当する場合は非公開とすることが出来るとありますが、本会議については該当する項目がありませんので公開することとなります。なお、第 1 号に記載されております、「枚方市情報公開条例」第 5 条の規定につきましては、参考資料 6 で条文を抜粋して掲載しておりますのでご確認ください。また、参考資料 5 の「枚方市スポーツ推進審議会条例」の第 8 条第 2 項で、「会議録を作成しなければならない」となっておりますが、その記載方法につきましては参考資料 7 「枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程」第 6 条 4 項のとおり、審議の内容が分かるように、発言内容を明確にして記載されるものとされております。そのため、委員の皆さんの発言内容につきまして全文筆記という形で考えております。

次に、同規定参考資料7の4ページ をご覧下さい。第7条の3におきまして、会議録については、会議録の確定後速やかに一般の閲覧に供するものとされています。次に会議の公開に当たり、傍聴手続等を定める必要がございます。2ページの第4条第3項には「審議会は、その会議の公開に当たっては、当該会議が公正かつ円滑に行われるよう、傍聴に係る手続その他必要な事項を決定する」とあります。恐れ入りますが、参考資料8をご覧ください。「枚方市スポーツ推進審議会の傍聴に関する取り扱い要領」を提案させていただきます。この要領につきましては、本市に定めます審議会の標準的な様式の要件を満たしているものになります。以上、会議の公開・傍聴に関する取り扱い等についてご審議をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

(高見会長) それでは、事務局から本審議会の運営について説明がありましたが、委員の皆さん、この件について何かご意見などございますでしょうか。特にございませんでしたら、本審議会の会議を「公開」して、「会議録を全文筆記で公表」するものとさせていただきます。

また、傍聴に関する手続についても、事務局提案のとおりとします。よろしくお願いいたします。続いて事務局、傍聴者の確認をお願いいたします。

(事務局) 傍聴者はございません。

(高見会長) 傍聴者がいないようですので、それでは、案件審議に入っていきたいと思います。

これから、議事に入りたいと思います。案件(3) 市民アンケート結果について事務局より説明をお願いします。

(事務局) それでは案件(3)に入る前に、第1回審議会でもご説明させていただきましたが、中間評価のスケジュールについて、改めてご説明させていただきます。★参考資料3 中間評価のスケジュールについてをご覧ください。アンケート結果に基づき、本日第2回審議会で、中間評価報告書(骨子案)について審議いただきます。そして、アンケートの分析結果や中間評価報告書案などを、第3回の審議会で確認いただき、令和5年2月に審議会からの答申を受け、3月の庁内委員会で内容を決定し、中間評価報告書としてまとめることとしております。その後、議会に対して報告を行うとともに、報告書については、市ホームページでの公開を考えております。以上が、今年度の中間評価報告書についてとなります。また、次年度のスケジュールについてですが、第2回庁内委員会にて委員よりご意見がありましたので、ここで報告をさせていただきます。

本計画を策定してから5年が経ち、その間2019年のラグビーワールドカップや1年遅れではありませんが東京2020オリンピック・パラリンピックなど大きなスポーツイベントが開催され、多くの感動が与えられた一方で、いまだに続く新型コロナウイルス感染症の拡大により、施設の閉鎖などでスポーツをする機会を奪われるといった状況になり、スポーツを取り巻く状況、社会情勢が大きく変化していることをふまえ、今回は中間評価報告書としてではなく、本計画の改定とするべきではないかとのご意見がありました。

事務局としましては、委員等からの意見もふまえ、今年度はお示ししておりますスケジュール通りに進め、報告書について委員の皆様よりご意見をいただき、3月に中間評価報告書としてまとめます。その後、中間評価報告書の内容をふまえ、令和5年度に本計画の改定を検討しております。以上でスケジュールのご説明とさせていただきます。それでは、案件(3) 市民アンケート結果について、担当よりご説明をさせていただきます。

案件3. 市民アンケート結果について

(事務局)

《案件3. 市民アンケート結果について説明》

(高見会長)

それでは、案件3. 市民アンケート結果について、ご意見・ご質問等がございますでしょうか。

(村島委員)する、みる、ささえるそれぞれにおいて、全て65歳以上の割合が多いということか。

ティアモの認知度の項目についても伏せていただきたい。

(事務局)する、みる、ささえるの項目ではなく、今回のアンケート結果の割合は参考資料1の2ページ目に掲載している。

(高見会長)65歳以上の方の影響が大きい数字になる。

(草部委員)全国の推進委員協議会に出席したが、最近はパラスポーツにシフトしていったのではないか。枚方においてもパラスポーツを重点していったらどうか。

(関委員)私は、支えるスポーツについてだが、仕事の関係もあると時間に余裕がないとの回答が多いが、時間に余裕があるからするのではなく、時間をつくろうと思えばつくれると思う。私は社会人になってから子どもと携わっているが、時間を作る方法をどうすればよいのかをお互いにアドバイスし合い、地域に携わることが大事だと教えてあげられる環境になればよいと思う

(田川委員)パラリンピックを見たきっかけだが、パラリンピックが終わってから特に、健常者の方がボランティアをする人が増えたわけではなく、関心が高まったのは一時であった。12月に枚方市で車いす陸上選手の講演会が開催されたが、私自身も都合が合わず出席できなかったが、実際どれだけの人が来たのか。興味はもたれているが、継続した興味にはつながっていないように感じる。そういったことをしてもらえればと思う

(谷口委員)新型コロナ後の項目だが、変化がないの数字が高いが、もっと変化・影響しているのではと感じた。

(阪本委員)回答する人がそもそもスポーツへの関心が高かったのではないか。その中で数字がおちている。全体数とれた時にはもう少し、低い数字になるのではないか。アンケートの取り方も大事。スポーツへどうやって興味をもってもらえるかの環境整備が大事ではないか

(村島委員)実施率についてだが、中々難しい数字であるが、コロナもあった割にはそんなに低い数字ではないのではないか。やれる環境、場所が大事である。枚方の中にスポーツをできる場所が、極端に少ないのではないか。サッカーでいくと、中の池ぐらいしかできない。そういった整備が大事ではないか。パンサーズさんとか、ティアモもそうだが、各企業がもっと努力していくべきである。プロスポーツを見れる環境をつくる、例えば観戦チケットがもらえとか、スポーツの情報というのは広報を見られていると思うが、もっとスポーツの情報を掲載していったらどうか。

(浜田委員)全般的に共通しているが、するにしても各地域などでスポーツをしているが、コロナ時は施設等も使えなくなっている。一時に比べれば、地域スポーツが減っている。高齢しており、引退などもあるが、20代30代の人達は忙しくてできない、一番スポーツ実施が多いのは40代50代である。できるスポーツといえば、激しく動かない、卓球などをしている人が多い。スポーツ施設が枚方には少ない。駅前開発もあるが、④街区をどうしていくか。芸術文化センターがあるように、スポーツ公園も必要ではないか。市民にとって、アクセスがよく、障害者も含めてそういう場所が必要ではないか。田口山の跡地について説明会があったが、スケボーなどは騒音問題があるので、駅前ではなく田口山のような場所で行えるようにしては。見るスポーツだが、プロスポーツが呼べる施設を作ったほうがよい。今、アリーナ建設の話もでていますが、バスケとか他の競技もできるようになるのでは。

(高見会長) 駅前再開発について、事務局として委員の皆さんに共有できることはあるか。

(事務局) 検討段階ではあるが、議会でもアリーナについても議題にあがっているが、駅前再開発では、まちの魅力、庁舎機能を高める施設を検討しており、その1つの案の中でアリーナがある。スポーツ振興をしていく、全体の中でスポーツ施設をどうしていくか検討している。

(高見会長) 再開発の中で、スポーツ施設も検討しているというこである。

(西邨委員) 実施率についてだが、たぶん何もしなくても運動をされる方がこの数字には含まれている広報の話があがっていたが、スポーツに興味がある人はしっかり広報を見るが、スポーツに関心がない人は、スルーしているのではないか。人間として、情報の要求している部分はしっかり見るが、それ以外の部分は見ないのではないか。3月にニッペパークでイベントを開催した。普段はスポーツ施設でしているが、今回は駅前の人通りがある公園で開催した。普段、スポーツ施設で実施しても30%ぐらいの人は来られるが、残りの方は来られないのが実情であったが、ニッペパークで開催すると、通りがかった人が見てくれた。興味・関心をもった人は一定数あった。

(木村委員) 西邨委員が言うように無関心層にいかに関心をもってもらえるかが、命題である。3割は来てもらえるが、それ以外の人には来てもらえない。健康というキーワードだと、ひっかかる人が多い。まずは身近な公園などでスポーツを行い、関心を持つきっかけをつくり、そこからスポーツをすることにつながるのではないか。

(高見会長) 実施率だけを見ると、そんなに低くないように思えるが、国・府の実施率は今回あがっている。スポーツは、我々が考えるスポーツだけでなく、日常の車を洗う、庭の手入れなどの行為も、スポーツに含めると、これぐらいの実施率にはなるのではないか。スポーツの定義づけによって数字は大きく変わってくる。無関心層の人たちは、スポーツというとサッカー、バスケットなどをイメージしてしまうのではないか。健康への関心が高まっているので、実施率をあげるには健康づくりにつなげていかないといけないのでは。

スポーツ環境を整えることは大事であるが、駅前にアリーナができて、実施率はあがらないのではないか。車に乗って行く場所で、スポーツをするかという、しないと思うが、歩いて行ける場所、公園や駐車場など、気軽にできることが大事である。ソフトの環境整備をする必要があるのではないか。環境整備というところに、ソフトもあわせて整備することが必要。それをどこが担っていくのかというと、推進委員の方などの役割が重要である。スポーツを担当されている部局が審議会をしているが、市の中ですべての課が共有してやっていかなければならない。

医者に行って、運動をするように言われても、どこでどんな運動をどれくらいすればよいのかまで言ってもらえない。医療関係など横のつながりをもっていかないと、広がらないのではないか。今後、新しい展開を期待している。

(浜田委員) スポーツ庁の体力測定を、平野校区コミュニティで実施した。参加人数はそんなにいなかったが、来られた方には次もやってくれと言われた。日頃の自分の体力がわかった。60代の人が多かったが、全国のレベルと比較して自分のレベルの位置がわかり、自分が思った以上に低く、運動をしないといけないと思った人が多かった。自分のレベルが目に見えてわかるほうがよい。新しいスポーツも実施したが、参加された方は興味を持ってくれた。カーリンコンなど、気軽にできるのでよいのでは。

(高見会長) 刺激になる。こんなに良いことがあるからスポーツをしませんかではなく、このまま放っ

ておくとダメですよと言われたほうがスポーツを始めないと思ってもらえるのではないかと。

(関委員) くずはの場所でやっているが、鉄棒などの遊具ではなく、平行棒や目的を付加させた施設があるが、遊び場プラス何かできる場所があると面白いのではないかと。

(高見会長) それでは、案件4にうつります。

4. 枚方市スポーツ推進計画の中間評価報告書(骨子案)について

(事務局)

《案件4 枚方市スポーツ推進計画の中間評価報告書(骨子案)について》説明

(高見会長) 皆さんの中でご意見等はございますでしょうか。

2023年に改定されると事務局よりあったが、コロナの影響などこの5年間で色々状況が変化している。12月末に発表があったが、スポーツ基本法も改定される。この5年間で時代が様々に変わっているので、それに合わせた内容にしていかないといけない。皆様、計画に盛り込むことなども含めて、ご意見等ございますでしょうか。

(阪本委員) 学校部活動の改革についてだが、枚方市として実際どう進めていっているのか。指導者の不足や、僕自身もスポーツ協会の指導者バンクに登録しているが、数が少ないのではないかと。アンケート結果でもあったように、ボランティアの数も少ないのではないかと。ハード面部分で環境がないから、受け入れられない。ハード面ができて指導者不足になり派遣できないといったことがあるのではないかと。

(関委員) 中学校の部活動について、子ども達や親にも聞かれるが、阪本委員もおっしゃっていたが、部活動改革の本来の趣旨は先生の負担を少なくするためであると聞いているが、部活動の本来の趣旨など、子どもの気持ちをどう受けとめ、移行させていくのか興味がある。

(高見会長) この後の計画にも影響してくることかと思うが、事務局から進捗を説明してほしい。

(事務局) 教育委員会とも協議をしているが、当初は、中学校の先生の働き方改革が目的で始まったが、直近に出ていた国のガイドラインには、学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関するガイドラインになっており、学校の部活動を地域へ移行する内容になっている。令和5年度からやると発表されているが、具体的なやり方は、まだ出されていない。子どもたちにも関わってくことで、進めて間違いなどがあれば、子どもたちの格差などもうまれてくる。学校の先生の中でも意識の差がある。そのため一度立ち返って、先生や推進委員、スポーツ団体など関係者を集めて協議会をつくり、みんなで話し合う場をつくることで準備を進めている。

(浜田委員) 現実、クラブは枚方市2小1中制度があり、クラブの数が中学校ごとで全然違う。クラブで中学校を選べるのが現状である。そのような状況なので、今学校の先生は顧問をしようという気がない。今まで、招堤中の校長と話してきたが、募集をかけても集まらない。現状は、部活が減ってくるのではないかと。

(村島委員) ボランティアに関してだが、大学にはサークルとかがあると思うが、例えば同志社大学であれば、大学と民間が連携していることが多くなっているが、枚方市としてはないのか。

(事務局) 直接、スポーツ関係で大学と連携していることはないが、市全体では、5大学とは連携している。

(西邨委員) 大学生とはイベントで連携している。直近では、外国語大学の駅伝部の方にお手伝いをし

ていただいたり、国際大学の大学生とパンサーズの活動で連携しているが、常時ある大学と連携しているということは特にはない。

(村島委員)大学生は地域貢献に興味を持っている生徒が多いので、経験をして単位をもらえるなど、学生にとっても枚方市にとっても良い関係ができるとよいのでは。

(浜田委員)いきいき広場には、外大生が来ていることもある。大学生を確保していくことが必要ではないか。

(村島委員)各大学や各団体がそれぞれやっているのだから、それをまとめる場所があればよいのではないか。

(浜田委員)学校でする子も多いが、本気でやりたい人はどうしてもリトルリーグとかプロがするところになってしまう。

(高見会長)大学とつながることは大きなことだが、各学校と大学がつながることは難しいので、枚方市が包括連携などを結ぶことで、大学がバックについて後押しすることで大学生が動きやすくなる。地域移行についても、大学と市が連携することで道が開かれるのではないか。

(村島委員)ティアモで親愛大学と協定を結ばせてもらったが、男子サッカー部は午前中が練習にしている、ちゃんと学業もするようにしている。もっと連携をうまくすればよいのではないか。見るという部分では、スマホで観戦ができる、例えばJFLは全部無料で試合が見れる。2年前ぐらいに、中学生3年生に対し、コロナで試合がなくなったため、大会を開いた。大会などをだれでも見れるようにすることで、おじいちゃんおばあちゃんも見れるし、発信の仕方が大事である。僕たちを利用してもらって発信してはどうか。子どもたちの試合をすると、やはり観にくるのは子どもたちの親、祖父母になる。見るきっかけづくりになるのではないか。

(高見会長)中体連の種目だけが話題になっているが、それから外れた種目があってもよいのではないか。トレーニングジムを利用している学生が増えており、例えばトレーナーというかたちで阪本委員のような方が大学生と関わってもらえると、自分の体を考えることになるし、バレーボールはできないが、トレーナーはできるといった、勝つことだけでなく、楽しめるような部活があってもよいのでは。地域移行を考える時に、部活道の意義を原点に立ち返ることが必要ではないか。指導者を地域に求めるだけではうまくいかないのではないか。

(谷口委員)計画は良いのができると思うが、実行計画をしっかりとつくりだすとすぐに5年間が終わってしまうのではないか。

(高見会長)審議会という組織があるが、実務者レベルの方々に集ってもらい、推進委員や地域の人もいるし、そういう方々が集まる組織も必要ではないか。

(浜田委員)スポーツ振興課から盛り上げて、まずは、このエリアをスポーツ公園にしていってほしい。

(高見会長)時間の関係もございますので、何かありましたら直接事務局までお願いしたい。

5. その他

(高見会長)続きまして、5. その他について事務局よりお願いします。

(事務局)委員の皆様は任期につきましてですが、予定通り令和5年3月31日までとさせていただきます、4月以降につきましては、審議会開催の日程に合わせて、新たに就任依頼の手続きをさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、高見会長からもございましたが、本日の審議会を通して追加でご意見等ございましたら、来週の日曜日までに事務局までお願いします。本日の議事録については、出来上がり次第メール等で送付しますので、ご確認をお願いします。

(高見会長)では、これをもちまして、令和4年度第2回枚方市スポーツ推進審議会を閉会とします。みなさん、お疲れ様でした。